

第2章 防災関連情報の整備

再エネ施設の立地誘導等を目的として、REPOSへ収録すべき防災関連情報項目と整備手法を検討した。また、検討した情報を収集し、REPOSで公開できるように整備した。

2.1 防災関連情報の検討

近年多発する激甚災害等を踏まえ、従来から構築している情報提供システムに、再エネ施設の立地誘導等を目的として、情報提供システムへ収録すべき防災関連情報項目と整備手法を検討した。表2.1-1に情報提供システムへ搭載すべき防災関連情報を示す。

表2.1-1 情報提供システムへ収録すべき防災関連情報

情報名 (区域等の名称)	内容	情報の整備状況	EADAS 整備状況	本業での 対応
土砂災害危険箇所（土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所）	建設省通達に基づく調査結果により判明した土砂災害危険箇所（土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所）及び雪崩危険箇所の範囲または位置	国土交通省国土政策局「国土数値情報（土砂災害危険箇所）平成22年度」で公開されている。	整備・収録済み	API連携にて収録
砂防三法指定区域（砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域）	砂防法（明治30年施行）、地すべり等防止法（昭和33年）、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（昭和44年）に基づいて指定される区域	各都道府県で情報を整備している。	整備・収録済み	API連携にて収録
土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域	土砂災害防止法（平成12年）に基づいて都道府県が指定する土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の範囲または位置	国土交通省国土政策局「国土数値情報（土砂災害警戒区域）平成30年度」で公開されている。	（未整備）	整備・収録
浸水想定区域（洪水）	水防法（昭和24年）に基づき河川管理者（国土交通大臣、都道府県知事）が管理する浸水想定区域の範囲または位置	国土交通省国土政策局「国土数値情報（浸水想定区域）平成24年度」で公開されている。	（未整備）	整備・収録
浸水想定区域（津波）	津波防災地域づくりに関する法律（平成23年）に基づき都道府県が管理する津波浸水想定区域の範囲または位置	国土交通省国土政策局「国土数値情報（津波浸水想定）平成28年～平成30年」で公開されている。	（未整備）	整備・収録

情報名 (区域等の名称)	内容	情報の整備状況	EADAS 整備状況	本業での 対応
山地災害危険地区【民有林】 (山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、崩壊土砂流出危険地区)	林野庁通達により都道府県が設定した民有林における山地災害危険地区(山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、崩壊土砂流出危険地区)の範囲または位置	各都道府県の治山事業所管部署が情報を管理している。	整備・収録済み	API連携にて収録
山地災害危険地区【国有林】 (山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、崩壊土砂流出危険地区)	林野庁通達により国有林における山地災害危険地区(山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、崩壊土砂流出危険地区)の範囲または位置	林野庁が情報を管理している。	本年度整備中	EADASにて公開後、API連携にて収録
土地履歴調査 (災害履歴図：地震災害、水害、土砂災害、地盤沈下)	国土調査法(昭和26年)に基づく土地分類基本調査の一環として集約された災害履歴図	地理院地図にて公開されている。	本年度整備中	EADASにて公開後、API連携にて収録

2.2 防災関連情報の整備

2.2.1 製品仕様の検討

前項で整理した防災関連情報のうち、本業務での整備が必要な以下の情報について、原典資料を調査した上で、情報提供システムに収録するためのGIS データとして必要なデータ仕様及び描画仕様を検討し、製品仕様書を作成した。製品仕様書は地理情報標準(JPGIS)に準拠したものとした。

(1) GIS データ整備対象項目

本業務において GIS データ整備対象項目を表 2.2-1 に示す。対象項目については、一種類の情報であっても位置情報が、点、線、面の形式データに分かれる場合、凡例区別にデータ作成が必要となる場合、データ未整備エリア、一般公開できない情報がある場合も考慮した。

表2.2-1 整備対象項目

NO	情報項目	整備項目
1	土砂災害特別警戒区域	土砂災害特別警戒区域（位置）
2		土砂災害特別警戒区域（範囲）
3	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域
4	浸水想定区域（洪水）	浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク 6 段階
5		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川） 浸水深ランク 6 段階
6		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川） 浸水深ランク 5 段階
7		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川） 浸水深ランク 7 段階
8		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況
9	浸水想定区域（津波）	浸水想定区域（津波）
10		浸水想定区域（津波）_収録状況
11		浸水想定区域（津波）（非公開（環境省））

（2）データ形式及び属性項目の設定

情報整備項目のデータ形式および GIS データの属性項目を検討し設定した。設定した内容を表 2.2-2～12 に示す。

表2.2-2 属性項目（属性定義）土砂災害特別警戒区域（位置）

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長 (バイト)
土砂災害特別警戒区域（位置）	土砂災害特別警戒区域（線）	SD01_T_L	shp（線）	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。)webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A33_001	現象の種類コード	土砂災害警戒区域の現象の種類「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地滑り」を区別するためのコード	Long	4
				A33_002	区域区分コード	土砂災害警戒区域の指定の種類「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」を区別するためのコード	Long	4
				A33_003	都道府県名コード	都道府県コード	Text	50
				A33_004	区域番号	土砂災害警戒区域の区域番号	Text	50
				A33_005	区域名	土砂災害警戒区域の区域の名称	Text	100
				A33_006	所在地	土砂災害警戒区域の位置する地名	Text	254
				A33_008	特別警戒未指定フラグ	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみ公示を行っているが、特別警戒区域（レッドゾーン）の調査・公示を行っていない区域を示すフラグ	Long	4
				SD01_001	告示日	土砂災害警戒区域を公示した年月日 Data型からText型に変更する 存在しない日付の場合は「情報なし」と入力する (例) 2015年3月31日	Text	14
				SD01_002	現象の種類	土砂災害警戒区域の現象の種類 現象の種類コードから入力	Text	20
				SD01_003	区域区分	土砂災害警戒区域の指定の種類 区域区分コードから入力	Text	30
				SD01_004	都道府県名	都道府県名	Text	8
				SD01_005	特別警戒未指定	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみ公示を行っているが、特別警戒区域（レッドゾーン）の調査・公示を行っていない区域を示す 特別警戒未指定フラグから入力	Text	20
				SD01_006	注意事項1	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_007	注意事項2	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_008	注意事項3	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_009	注意事項4	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_010	備考		Text	254
				SD01_011	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
SD01_012	原典及び整備方法	「国土数値情報（土砂災害警戒区域データ）令和元年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」と入力する	Text	254				
SD01_013	使用上の留意事項	各都道府県の使用許諾条件を入力する	Text	254				

表2.2-3 属性項目（属性定義）土砂災害特別警戒区域（範囲）

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長(バイト)
土砂災害特別警戒区域（範囲）	土砂災害特別警戒区域（面）	SD01_T_A	shp（面）	FID（OBJECTID）	（OBJECTID）	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp（図形データを特定する[1]から始まる連番。）⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	（図形データの形式-“Polygon”等が自動入力される。）webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A33_001	現象の種類コード	土砂災害警戒区域の現象の種類「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地滑り」を区別するためのコード	Long	4
				A33_002	区域区分コード	土砂災害警戒区域の指定の種類「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」を区別するためのコード	Long	4
				A33_003	都道府県名コード	都道府県コード	Text	50
				A33_004	区域番号	土砂災害警戒区域の区域番号	Text	50
				A33_005	区域名	土砂災害警戒区域の区域の名称	Text	100
				A33_006	所在地	土砂災害警戒区域の位置する地名	Text	254
				A33_008	特別警戒未指定フラグ	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみ公示を行っているが、特別警戒区域（レッドゾーン）の調査・公示を行っていない区域を示すフラグ	Long	4
				SD01_001	告示日	土砂災害警戒区域を公示した年月日 Data型からText型に変更する 存在しない日付の場合は「情報なし」と入力する （例）2015年3月31日	Text	14
				SD01_002	現象の種類	土砂災害警戒区域の現象の種類 現象の種類コードから入力	Text	20
				SD01_003	区域区分	土砂災害警戒区域の指定の種類 区域区分コードから入力	Text	30
				SD01_004	都道府県名	都道府県名	Text	8
				SD01_005	特別警戒未指定	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみ公示を行っているが、特別警戒区域（レッドゾーン）の調査・公示を行っていない区域を示す 特別警戒未指定フラグから入力	Text	20
				SD01_006	注意事項1	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_007	注意事項2	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_008	注意事項3	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_009	注意事項4	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_010	備考		Text	254
				SD01_011	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
SD01_012	原典及び整備方法	茨城県、石川県のデータは平成30年度、それ以外の都道府県のデータは令和元年度を入力する 「国土数値情報（土砂災害警戒区域データ）平成30年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」 「国土数値情報（土砂災害警戒区域データ）令和元年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」	Text	254				
SD01_013	使用上の留意事項	各都道府県の使用許諾条件を入力する	Text	254				

表 2.2-4 属性項目（属性定義）土砂災害警戒区域

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報				
				フィールド名	属性項目名	項目説明	シェープファイル属	
							型	フィールド長 (バイト)
土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	SD01_K_A	shp (面)	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A33_001	現象の種類コード	土砂災害警戒区域の現象の種類「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地滑り」を区別するためのコード	Long	4
				A33_002	区域区分コード	土砂災害警戒区域の指定の種類「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」を区別するためのコード	Long	4
				A33_003	都道府県名コード	都道府県コード	Text	50
				A33_004	区域番号	土砂災害警戒区域の区域番号	Text	50
				A33_005	区域名	土砂災害警戒区域の区域の名称	Text	100
				A33_006	所在地	土砂災害警戒区域の位置する地名	Text	254
				A33_008	特別警戒未指定フラグ	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみ公示を行っているが、特別警戒区域（レッドゾーン）の調査・公示を行っていない区域を示すフラグ	Long	4
				SD01_001	告示日	土砂災害警戒区域を公示した年月日 Data型からText型に変更する 存在しない日付の場合は「情報なし」と入力する (例) 2015年3月31日	Text	14
				SD01_002	現象の種類	土砂災害警戒区域の現象の種類 現象の種類コードから入力	Text	20
				SD01_003	区域区分	土砂災害警戒区域の指定の種類 区域区分コードから入力	Text	30
				SD01_004	都道府県名	都道府県名	Text	8
				SD01_005	特別警戒未指定	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）のみ公示を行っているが、特別警戒区域（レッドゾーン）の調査・公示を行っていない区域を示す 特別警戒未指定フラグから入力	Text	20
				SD01_006	注意事項1	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_007	注意事項2	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_008	注意事項3	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_009	注意事項4	各都道府県の注意事項	Text	254
				SD01_010	備考		Text	254
				SD01_011	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
SD01_012	原典及び整備方法	茨城県、石川県のデータは平成30年度、それ以外の都道府県のデータは令和元年度を入力する 「国土数値情報（土砂災害警戒区域データ）平成30年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」 「国土数値情報（土砂災害警戒区域データ）令和元年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」	Text	254				
SD01_013	使用上の留意事項	各都道府県の使用許諾条件を入力する	Text	254				

表 2.2-5 属性項目（属性定義）浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深6区分

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報				
				フィールド名	属性項目名	項目説明	シェープファイル属 型 フィールド長 (バイト)	
浸水想定区域 （洪水）（国 管理河川）浸 水深6区分	浸水想定区域 （洪水）（国 管理河川）浸 水深6区分	SD02_1_A	shp（面）	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェック を入れる。	ジオメトリ	
				A31_201	浸水深ランク コード	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得 られた浸水深のランクコード	Long	5
				A31_202	指定年月日	当該浸水想定区域を指定した年月日	Text	25
				A31_203	告示番号	当該浸水想定区域を告示した際の告示番号	Text	50
				A31_204	指定の前提とな る降雨	当該洪水浸水想定区域の指定の前提となる計画降 雨	Text	50
				SD02_001	浸水深	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得 られた浸水深 浸水深ランクコードから入力	Text	50
				SD02_002	管理河川	「国管理河川」と入力する	Text	16
				SD02_003	河川名	国土数値情報のファイル名に記載されている河川 名を入力する	Text	100
				SD02_004	管理者	北海道開発局および各地方整備局名	Text	20
				SD02_005	備考		Text	254
				SD02_006	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
				SD02_007	原典及び整備方 法	「国土数値情報（浸水想定区域データ）令和元年 度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集し た。」と入力する	Text	254
SD02_008	使用上の留意事 項	使用上の留意事項を入力する	Text	254				
SD02_009	使用上の留意事 項2	使用上の留意事項を入力する	Text	254				

表 2.2-6 属性項目（属性定義）浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深6区分

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長(バイト)
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深6区分	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深6区分	SD02_2_A	shp（面）	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-“Polygon”等が自動入力される。)webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A31_201	浸水深ランクコード	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得られた浸水深のランクコード	Long	5
				A31_202	指定年月日	当該浸水想定区域を指定した年月日	Text	25
				A31_203	告示番号	当該浸水想定区域を告示した際の告示番号	Text	50
				A31_204	指定の前提となる降雨	当該洪水浸水想定区域の指定の前提となる計画降雨	Text	50
				SD02_001	浸水深	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得られた浸水深浸水深ランクコードから入力	Text	50
				SD02_002	管理河川	「都道府県管理河川」と入力する	Text	16
				SD02_003	河川名	国土数値情報のファイル名に記載されている河川名を入力する	Text	100
				SD02_004	管理者	都道府県名	Text	20
				SD02_005	備考		Text	254
				SD02_006	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
				SD02_007	原典及び整備方法	「国土数値情報（浸水想定区域データ）令和2年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」と入力する	Text	254
				SD02_008	使用上の留意事項	使用上の留意事項を入力する	Text	254
SD02_009	使用上の留意事項2	使用上の留意事項を入力する	Text	254				

表 2.2-7 属性項目（属性定義）浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深5区分

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報				
				フィールド名	属性項目名	項目説明	シェープファイル属性 型 フィールド長 (バイト)	
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深5区分	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深5区分	SD02_3_A	shp（面）	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A31_001	浸水深ランクコード	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得られた浸水深のランクコード	Long	9
				A31_002	作成種別コード	当該浸水想定区域図を作成した自治体が属する都道府県と、対象となる河川の水系を主管する地方整備局等の作成種別コード	Text	30
				A31_003	作成主体	当該浸水想定区域図を作成した機関名	Text	254
				A31_004	指定年月日	当該浸水想定区域を指定した年月日	Text	254
				A31_005	告示番号	当該浸水想定区域を告示した際の告示番号	Text	254
				A31_006	属性テキストファイル	属性テキストファイルの名称	Text	254
				SD02_001	浸水深	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得られた浸水深 浸水深ランクコードから入力	Text	50
				SD02_002	作成種別	当該浸水想定区域図を作成した自治体が属する都道府県と、対象となる河川の水系を主管する地方整備局等 作成種別コードから入力	Text	50
				SD02_003	管理河川	「都道府県管理河川」と入力する	Text	16
				SD02_004	説明文_1	浸水想定区域図の説明、浸水想定区域図を作成した際のシミュレーションの条件及び浸水想定区域図を利用する上での注意事項 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_005	説明文_2		Text	254
				SD02_006	説明文_3		Text	254
				SD02_007	説明文_4		Text	254
				SD02_008	説明文_5		Text	254
				SD02_009	説明文_6		Text	254
				SD02_010	説明文_7		Text	254
				SD02_011	説明文_8		Text	254
				SD02_012	対象となる洪水予報河川_1	当該浸水想定区域の指定の対象となる河川の名称と実施区間 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_013	対象となる洪水予報河川_2		Text	254
				SD02_014	対象となる洪水予報河川_3		Text	254
				SD02_015	対象となる洪水予報河川_4		Text	254
				SD02_016	指定の前提となる計画降雨_1	当該浸水想定区域の指定の前提となる計画降雨 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_017	指定の前提となる計画降雨_2		Text	254
				SD02_018	関係市町村	当該浸水想定区域に関係する市区町村名 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_019	その他計算条件等_1	浸水想定区域図の説明、浸水想定区域図を作成した際のシミュレーションの条件及び浸水想定区域図を利用する上での注意事項 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_020	その他計算条件等_2		Text	254
				SD02_021	その他計算条件等_3		Text	254
				SD02_022	その他計算条件等_4		Text	254
SD02_023	その他計算条件等_5	Text	254					
SD02_024	その他計算条件等_6	Text	254					
SD02_025	備考		Text	254				
SD02_026	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254				
SD02_027	原典及び整備方法	「国土数値情報（浸水想定区域データ）平成24年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」と入力する	Text	254				
SD02_028	使用上の留意事項	使用上の留意事項を入力する	Text	254				
SD02_029	使用上の留意事項2	使用上の留意事項を入力する	Text	254				

表 2.2-8 属性項目（属性定義）浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深7区分

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長 (バイト)
浸水想定区域 （洪水）（都道府県管理河川）浸水深7区分	浸水想定区域 （洪水）（都道府県管理河川）浸水深7区分	SD02_4_A	shp (面)	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)⇒FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A31_001	浸水深ランクコード	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得られた浸水深のランクコード	Long	9
				A31_002	作成種別コード	当該浸水想定区域図を作成した自治体が属する都道府県と、対象となる河川の水系を主管する地方整備局等の作成種別コード	Text	30
				A31_003	作成主体	当該浸水想定区域図を作成した機関名	Text	254
				A31_004	指定年月日	当該浸水想定区域を指定した年月日	Text	254
				A31_005	告示番号	当該浸水想定区域を告示した際の告示番号	Text	254
				A31_006	属性テキストファイル	属性テキストファイルの名称	Text	254
				SD02_001	浸水深	当該浸水想定区域図に示されている浸水深から得られた浸水深 浸水深ランクコードから入力	Text	50
				SD02_002	作成種別	当該浸水想定区域図を作成した自治体が属する都道府県と、対象となる河川の水系を主管する地方整備局等 作成種別コードから入力	Text	50
				SD02_003	管理河川	「都道府県管理河川」と入力する	Text	16
				SD02_004	説明文_1	浸水想定区域図の説明、浸水想定区域図を作成した際のシミュレーションの条件及び浸水想定区域図を利用する上での注意事項 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_005	説明文_2		Text	254
				SD02_006	説明文_3		Text	254
				SD02_007	説明文_4		Text	254
				SD02_008	説明文_5		Text	254
				SD02_009	説明文_6		Text	254
				SD02_010	説明文_7		Text	254
				SD02_011	説明文_8		Text	254
				SD02_012	対象となる洪水予報河川_1	当該浸水想定区域の指定の対象となる河川の名称と実施区間 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_013	対象となる洪水予報河川_2		Text	254
				SD02_014	対象となる洪水予報河川_3		Text	254
				SD02_015	対象となる洪水予報河川_4		Text	254
				SD02_016	指定の前提となる計画降雨_1	当該浸水想定区域の指定の前提となる計画降雨 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_017	指定の前提となる計画降雨_2	当該浸水想定区域の指定の前提となる計画降雨 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_018	関係市町村	当該浸水想定区域に関係する市区町村名 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_019	その他計算条件等_1	浸水想定区域図の説明、浸水想定区域図を作成した際のシミュレーションの条件及び浸水想定区域図を利用する上での注意事項 該当する属性テキストファイルから入力	Text	254
				SD02_020	その他計算条件等_2		Text	254
				SD02_021	その他計算条件等_3		Text	254
				SD02_022	その他計算条件等_4		Text	254
SD02_023	その他計算条件等_5	Text	254					
SD02_024	その他計算条件等_6	Text	254					
SD02_025	備考		Text	254				
SD02_026	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254				
SD02_027	原典及び整備方法	「国土数値情報（浸水想定区域データ）平成24年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」と入力する	Text	254				
SD02_028	使用上の留意事項	使用上の留意事項を入力する	Text	254				
SD02_029	使用上の留意事項2	使用上の留意事項を入力する	Text	254				

表 2.2-9 属性項目（属性定義）浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長(バイト)
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	SD02_N_A	shp（面）	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。⇒FGDB)	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-“Polygon”等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				SD02_001	都道府県名	都道府県の名称	Text	10
				SD02_002	都道府県コード	都道府県を示す2桁のコード	Text	2
				SD02_003	収録状況	収録状況を入力する 「浸水深ランク6段階」「浸水深ランク5段階」 「浸水深ランク7段階」「浸水深ランク5段階および7段階」	Text	30

表 2.2-10 属性項目（属性定義）浸水想定区域（津波）

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長(バイト)
浸水想定区域（津波）	浸水想定区域（津波）	SD03_1_A	shp（面）	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。⇒FGDB)	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-“Polygon”等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A40_001	都道府県名	都道府県の名称	Text	10
				A40_002	都道府県コード	都道府県を示す2桁のコード	Text	2
				A40_003	津波浸水深の区分	各都道府県の報告書等に記載あるランク区分	Text	40
				SD03_001	津波浸水深の凡例	津波浸水深にしたがって都道府県ごとに1～11の凡例区分を付与	short	2
				SD03_002	備考		Text	254
				SD03_003	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
				SD03_004	原典及び整備方法	都道府県ごとに使用した年度を入力する 「国土数値情報（津波浸水想定データ）平成28年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」 「国土数値情報（津波浸水想定データ）平成29年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」 「国土数値情報（津波浸水想定データ）平成30年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」	Text	254
				SD03_005	使用上の留意事項	各都道府県の使用許諾条件を入力する	Text	254

表 2.2-11 属性項目（属性定義）浸水想定区域（津波）_収録状況

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長 (バイト)
浸水想定区域 (津波)_収録状況	浸水想定区域 (津波)_収録状況	SD03_N_A	shp (面)	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)=FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				SD03_001	都道府県名	都道府県の名称	Text	10
				SD03_002	都道府県コード	都道府県を示す2桁のコード	Text	2
				SD03_003	収録状況	収録状況を入力する	Text	40

表 2.2-12 属性項目（属性定義）浸水想定区域（津波）_（非公開（環境省））

情報名	レイヤ名	ファイル名	データ形式	属性情報			シェープファイル属	
				フィールド名	属性項目名	項目説明	型	フィールド長 (バイト)
浸水想定区域 (津波) (非公開(環境省))	浸水想定区域 (津波) (非公開(環境省))	SD03_2_A	shp (面)	FID (OBJECTID)	(OBJECTID)	図形データを特定する[0]から始まる連番。⇒shp (図形データを特定する[1]から始まる連番。)=FGDB	Object ID	-
				Shape	Shape	(図形データの形式-"Polygon"等が自動入力される。) webシステムで検索可能とするために表示にチェックを入れる。	ジオメトリ	
				A40_001	都道府県名	都道府県の名称	Text	10
				A40_002	都道府県コード	都道府県を示す2桁のコード	Text	2
				A40_003	津波浸水深の区分	各都道府県の報告書等に記載あるランク区分	Text	40
				SD03_001	津波浸水深の凡例	津波浸水深にしたがって都道府県ごとに1~11の凡例区分を付与	short	2
				SD03_002	備考		Text	254
				SD03_003	情報レベル	「国土数値情報のレベルに同じ」と入力する	Text	254
				SD03_004	原典及び整備方法	都道府県ごとに使用した年度を入力する 「国土数値情報（津波浸水想定データ）平成28年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」 「国土数値情報（津波浸水想定データ）平成29年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」 「国土数値情報（津波浸水想定データ）平成30年度（国土交通省）の情報をもとに集約・編集した。」	Text	254
				SD03_005	使用上の留意事項	各都道府県の使用許諾条件を入力する	Text	254

(3) 製品仕様書の作成

GISデータを整備するために、地理情報標準プロファイル（以下、JPGIS）2014に準拠した製品仕様書を作成した。製品仕様書の項目とその内容を表2.2-13に示す。

表2.2-13 GISデータ製品仕様書の内容

項目	内容
概覧	データの概要を示す。製品仕様書の作成に関する情報、データの具体的な目的、データが対象とする空間範囲及び時間範囲、引用する規格、用語と定義、略語の説明等。
適用範囲	製品仕様書の適用範囲について、適用範囲識別と階層レベルにより示す。
データ製品識別	他の地理空間データ製品と識別するための情報として、地理空間データ製品の名称、日付、地理空間データ製品に関する問合せ先及び地理記述を示す。
データ内容及び構造	作成する地理空間データの内容、構造及びその特性を詳細に記したものを。
参照系	準拠して作成する地理空間データが、実世界の空間的・時間的位置を特定するための基準を示す。
データ品質	地理空間データがその利用目的に合致するために保証しなければならない品質の基準を品質要求として示す。
データ製品配布	配布書式情報と配布媒体情報を示す。
メタデータ	この製品仕様書に従って作成する地理空間データのメタデータの仕様を示す。JPGIS はメタデータの仕様としてJMP2.0 を使用する。
その他	任意記載項目。データ取得、データ保守、追加情報について記述することができるが、本業務では記述対象外とした。

（「地理空間データ製品仕様書作成マニュアル（平成26年4月 国土交通省国土地理院）」を基に編集）

2.2.2 最新の原典資料の収集と整理

本業務で作成する防災関連情報について、最新の原典資料を収集し整理した。収集した原典資料の内容を表2.2-14に示す。

表2.2-14 収集した原典資料の内容

NO	情報項目	整備項目	原典資料
1	土砂災害特別警戒区域	土砂災害特別警戒区域（位置）	国土交通省国土政策局「国土数値情報（土砂災害警戒区域）令和元年度」
2		土砂災害特別警戒区域（範囲）	
3	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	国土交通省国土政策局「国土数値情報（土砂災害警戒区域）平成30年度および令和元年度」
4	浸水想定区域（洪水）	浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階	国土交通省国土政策局「国土数値情報（洪水浸水想定区域）令和2年度」
5		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階	
6		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階	国土交通省国土政策局「国土数値情報（洪水浸水想定区域）平成24年度」
7		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階	
8	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域）令和2年度」	
9	浸水想定区域（津波）	浸水想定区域（津波）	国土交通省国土政策局「国土数値情報（津波浸水想定）平成28年度および平成29年度および平成30年度」
10		浸水想定区域（津波）_収録状況	国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域）令和2年度」
11		浸水想定区域（津波）（非公開（環境省））	国土交通省国土政策局「国土数値情報（津波浸水想定）平成28年度および平成29年度および平成30年度」

2.2.3 使用許諾に関する確認

収集した原典資料及びGISデータのうち、データの再配信に関して確認が必要と条件明記されていた宮崎県及び長崎県に対して、情報提供システム上での一般公開について使用許諾の確認を行った。使用許諾に関する確認結果を表2.2-15に示す。

表2.2-15 使用許諾に関する確認結果

NO	情報項目	情報名	使用許諾確認先	使用許諾に関する確認結果
9	浸水想定区域 (津波)	国土数値情報 津波浸水想定（平成30年度）の宮崎県の情報	宮崎県総務部危機管理 管理局危機管理課 南海トラフ大規模 災害対策担当	環境省発行の事務連絡 （依頼）にてWeb上での 一般公開について承諾 を得た
		国土数値情報 津波浸水想定データ（平成30年度）の 長崎県の情報	長崎県土木港湾課	環境省発行の事務連絡 （依頼）にてWeb上での 一般公開について承諾 を得た

2.2.4 GISデータの作成

(1) GISデータの作成方法

作成した製品仕様書に従い、収集した原典情報からGIS データを作成した。GISデータの作成方法を表2.2-16に示す。

表2.2-16 GISデータの作成方法

NO	情報項目	整備項目	GISデータの作成方法
1	土砂災害特別警戒区域	土砂災害特別警戒区域（位置）	収集したGISデータ（ラインデータ）を集約して編集した。
2		土砂災害特別警戒区域（範囲）	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
3	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
4	浸水想定区域（洪水）	浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
5		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
6		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
7		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
8		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
9	浸水想定区域（津波）	浸水想定区域（津波）	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
10		浸水想定区域（津波）_収録状況	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。
11		浸水想定区域（津波）（非公開（環境省））	収集したGISデータ（ポリゴンデータ）を集約して編集した。

(2) 表示の検討及び設定

作成するGISデータについては、EADASで適切に表示されるように、情報項目別の表示設定を検討した。

①表示縮尺制限の範囲（拡大の制限、縮小の制限）

- ・原典の精度と原典の使用許諾要件に応じた、拡大の縮尺レベルの制限。
- ・データ量が多く表示に時間を要する情報等に応じた、縮小の縮尺レベルの制限。

②シンボル（凡例）

- ・凡例のデザイン（シンボルフォント、ポイント数、色彩 等）

- ・地図上に表示する属性情報の設定（凡例区分の設定）
- ・デフォルトの透過率設定（原則はしない）、基準スケーリング
- ・表示の優先度（シンボルレベル）等

③ラベル

- ・名称等のテキストを表示するか否かの設定
- ・ラベルのデザイン（フォント、ポイント数、色彩、強調表示、引き出し線等）
- ・ラベルの表示位置、表示縮尺の範囲（拡大の制限、縮小の制限）、表示の優先度等

上記①及び③ラベルの表示縮尺制限の設定結果を表 2. 2-17 に、上記②シンボルと③ラベルの表示設定結果を表 2. 2-18 に示す。

表2. 2-17 表示縮尺制限範囲の設定結果一覧

DB区分	カテゴリ大区分		カテゴリ小区分		情報項目(情報名)		レイヤ名	システム搭載単位(マップサービス)			表示縮尺制限の範囲	
	NO.1	データ分類1	NO.2	データ分類2	NO.3	データ分類3	データ分類4	ファイル名	レイヤ順序 マップサービス単位内	マップキャッチ	レイヤ別表示縮尺制限	ラベル表示縮尺制限
全国環境情報	2	社会的状況	8	防災関連情報	X1.01.01	土砂災害特別警戒区域(位置)	土砂災害特別警戒区域(線)	SD01_T_L	1	—	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.01.02	土砂災害特別警戒区域(範囲)	土砂災害特別警戒区域(面)	SD01_T_A	1	●	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.01.03	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	SD01_K_A	1	●	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.02.11	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	SD02_1_A	1	●	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.02.21	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	SD02_2_A	1	●	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.02.22	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	SD02_3_A	1	—	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.02.23	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	SD02_4_A	1	—	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.02.24	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)収録状況	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)収録状況	SD02_N_A	1	—	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.03.01	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	SD03_1_A	1	●	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.03.02	浸水想定区域(津波)収録状況	浸水想定区域(津波)収録状況	SD03_N_A	1	—	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無
					X1.03.03	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	SD03_2_A	1	●	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500	ラベル表示無

表2.2-18 GISデータ（新たに作成）の表示設定一覧

情報項目名	凡例
土砂災害特別警戒区域	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害特別警戒区域(指定済) 土砂災害特別警戒区域(指定済) 土砂災害特別警戒区域(指定前)
土砂災害警戒区域	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒区域(指定済) 土砂災害警戒区域(指定前)
浸水想定区域（洪水）（国管理河川） 浸水深ランク 6 段階	<ul style="list-style-type: none"> 0～0.5m未満 0.5～3.0m未満 3.0～5.0m未満 5.0～10.0m未満 10.0～20.0m未満 20.0m以上
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川） 浸水深ランク 6 段階	
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川） 浸水深ランク 5 段階	<ul style="list-style-type: none"> 0～0.5m未満 0.5～1.0m未満 1.0～2.0m未満 2.0～5.0m未満 5.0m以上
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川） 浸水深ランク 7 段階	<ul style="list-style-type: none"> 0～0.5m未満 0.5～1.0m未満 1.0～2.0m未満 2.0～3.0m未満 3.0～4.0m未満 4.0～5.0m未満 5.0m以上
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深ランク6段階 浸水深ランク5段階および7段階 浸水深ランク5段階 浸水深ランク7段階
浸水想定区域（津波）	<ul style="list-style-type: none"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
浸水想定区域（津波）_収録状況	<ul style="list-style-type: none"> 津波浸水想定が設定されていない 未収録

(3) GISデータの作成結果

GISデータの出力図を図2.2-1～18に作成した示す。

土砂災害警戒区域



图2. 2-1 土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域

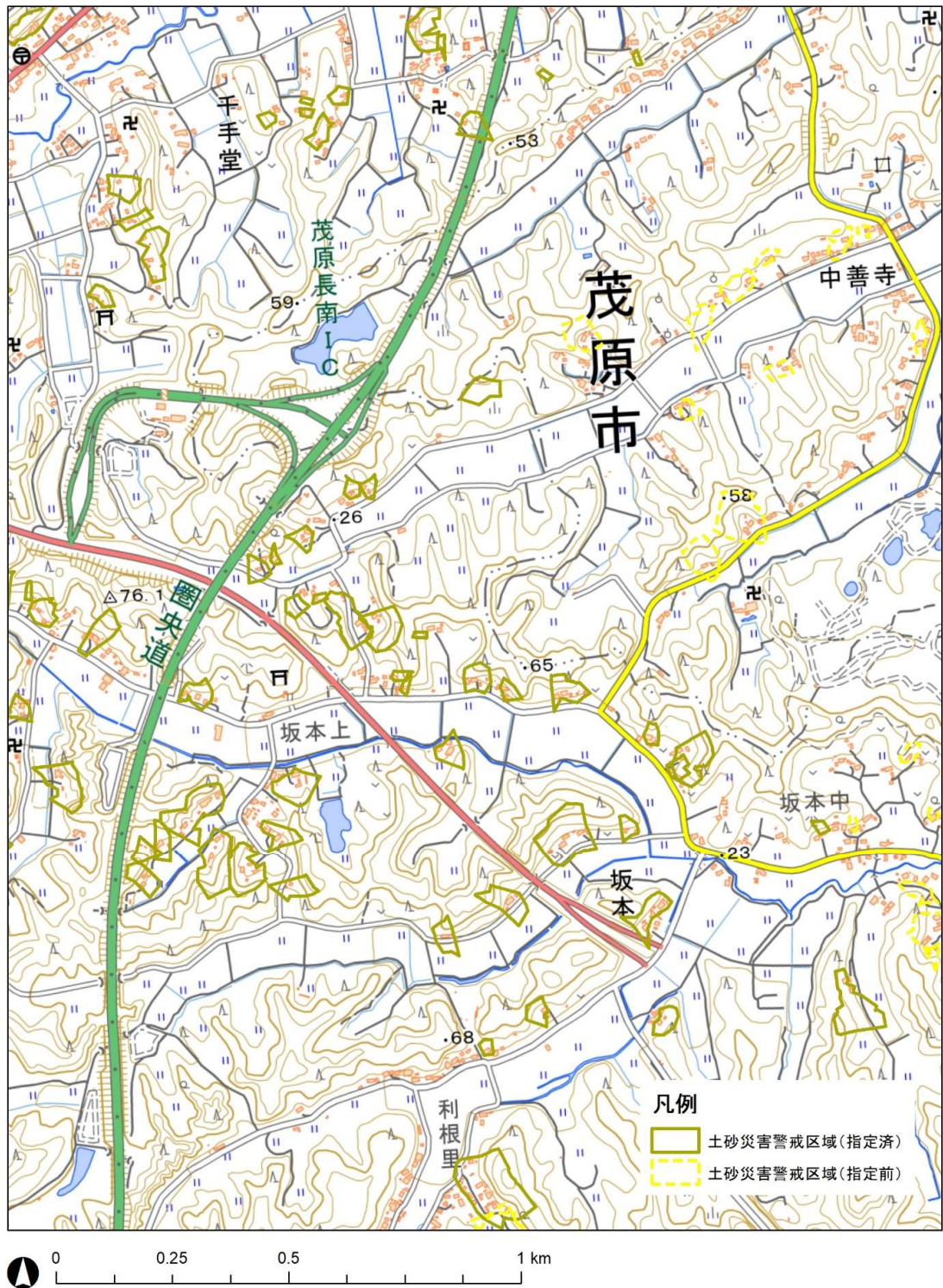


图2. 2-2 土砂災害警戒区域 部分拡大

土砂災害特別警戒区域

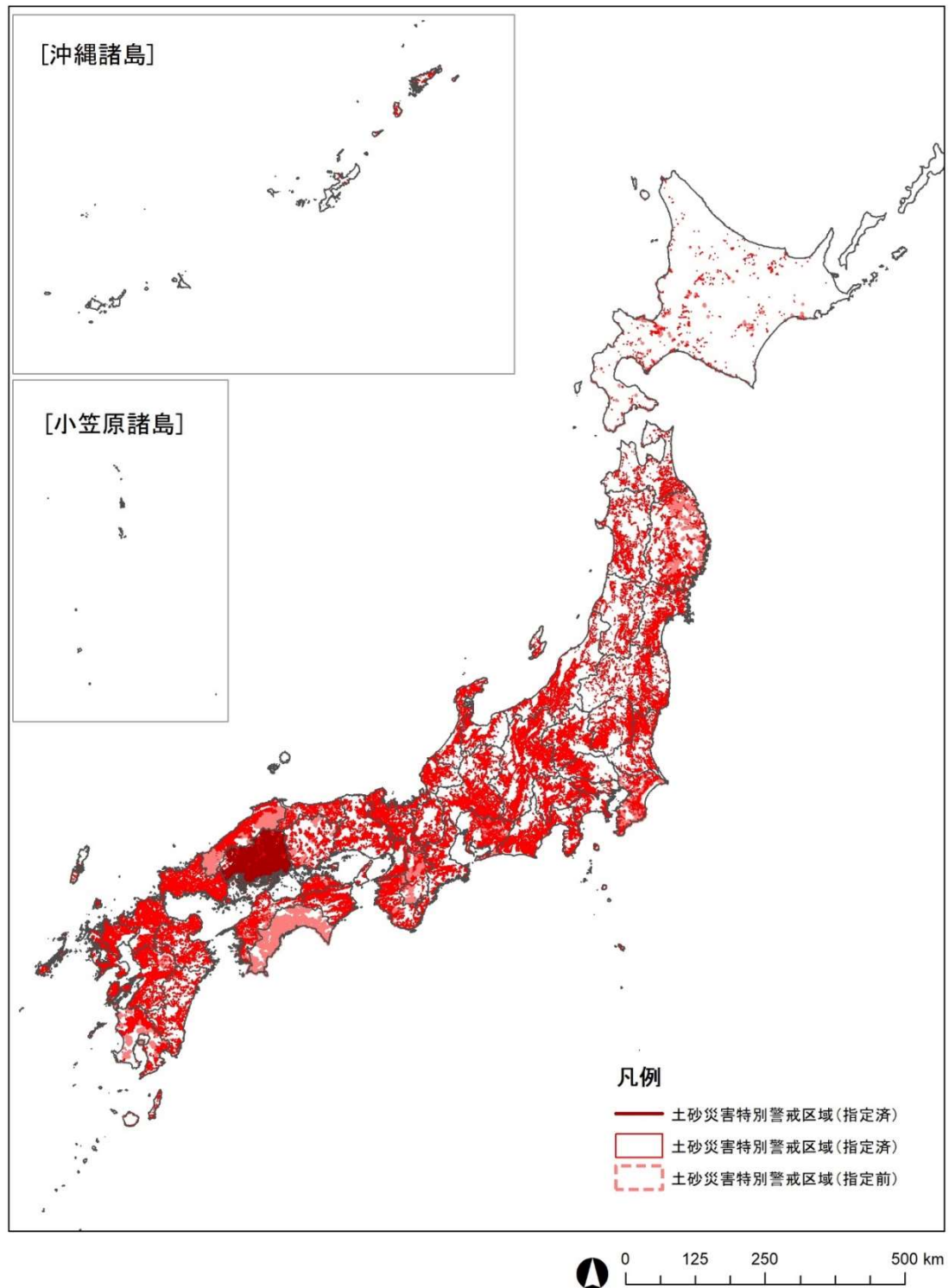


图2. 2-3 土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域



图2.2-4 土砂災害警戒区域 部分拡大

浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階

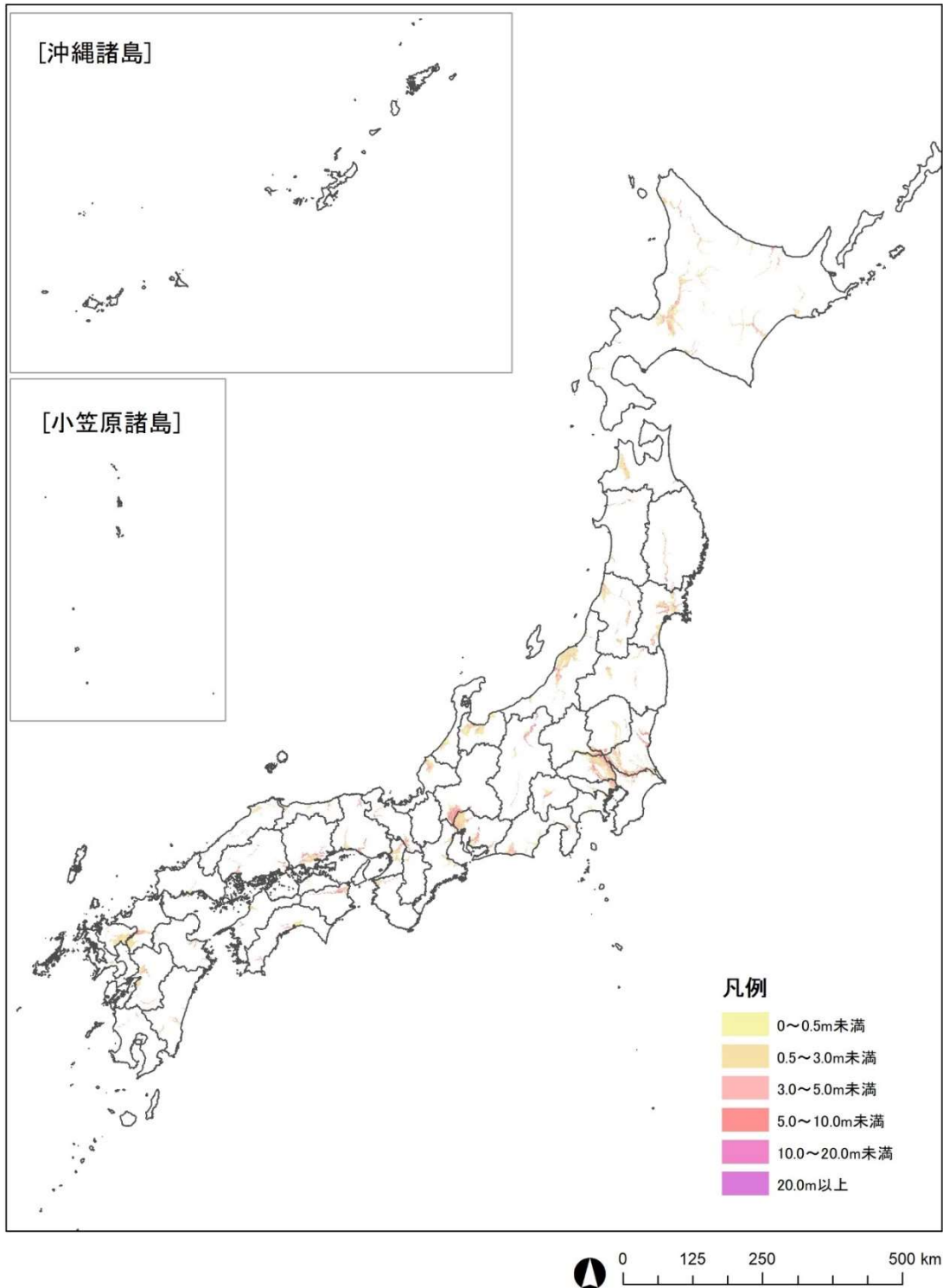


図2.2-5 浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階

浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階

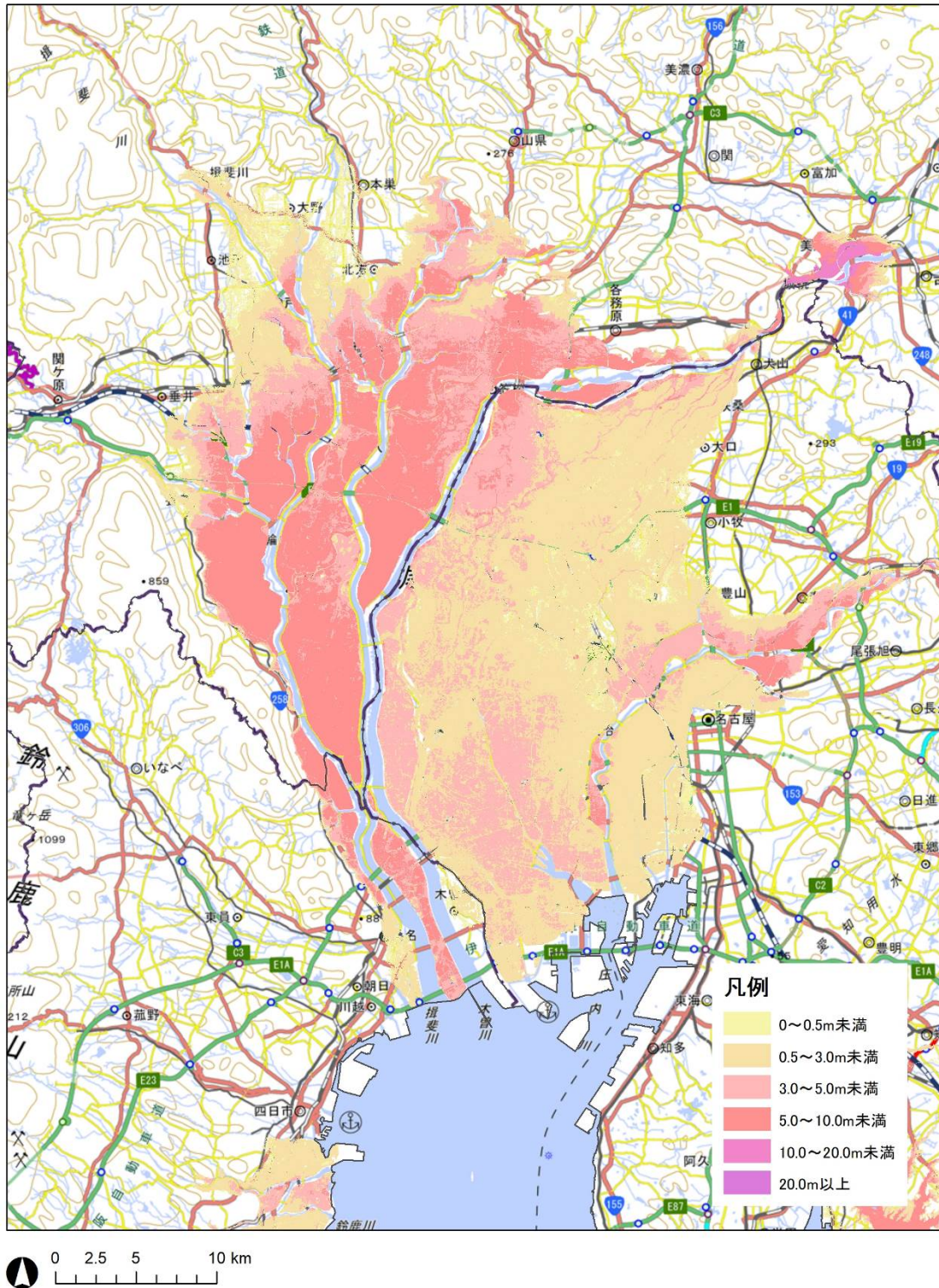


図2.2-6 浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階 部分拡大

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階

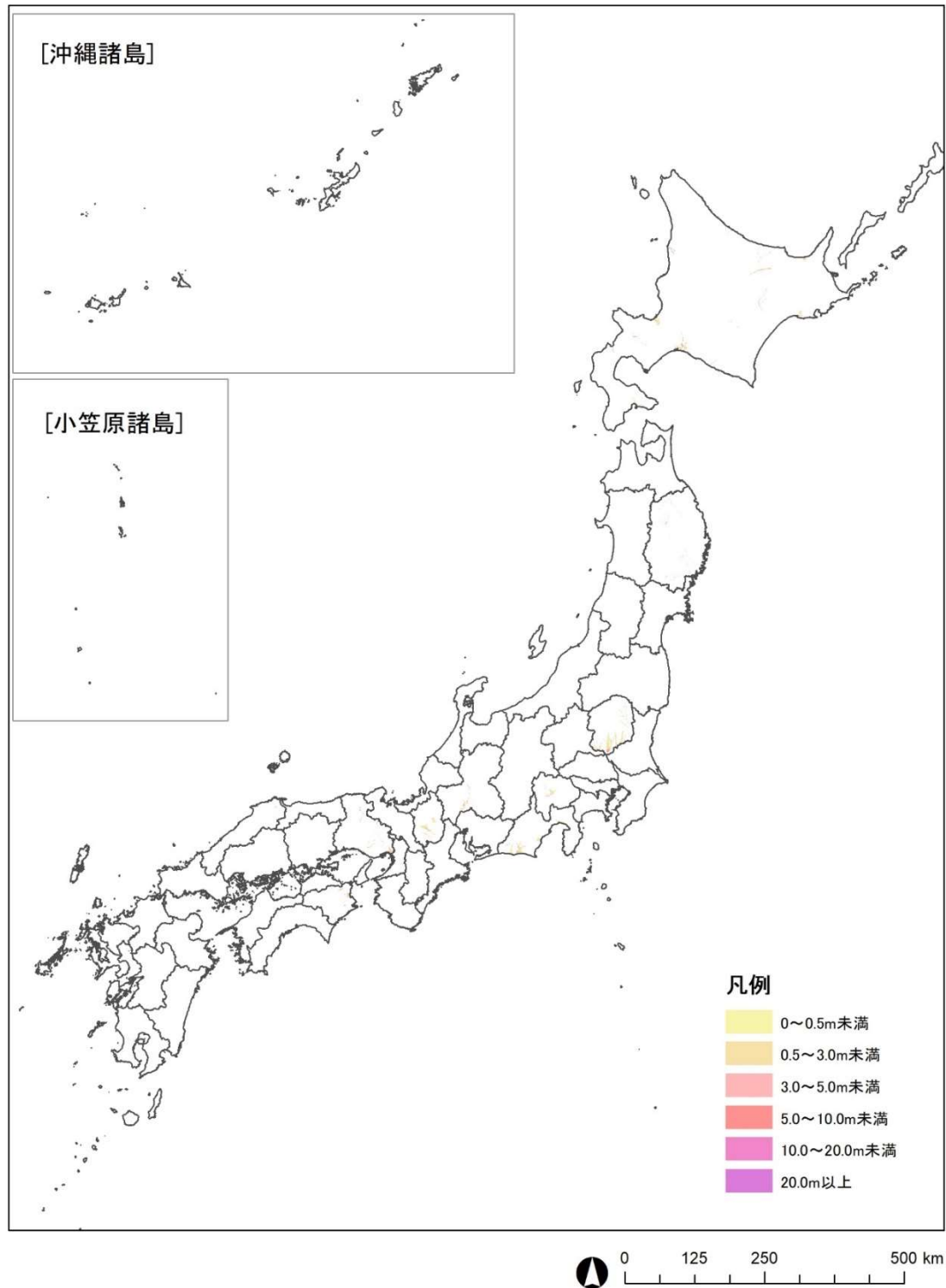


図2.2-7 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川) 浸水深ランク6段階

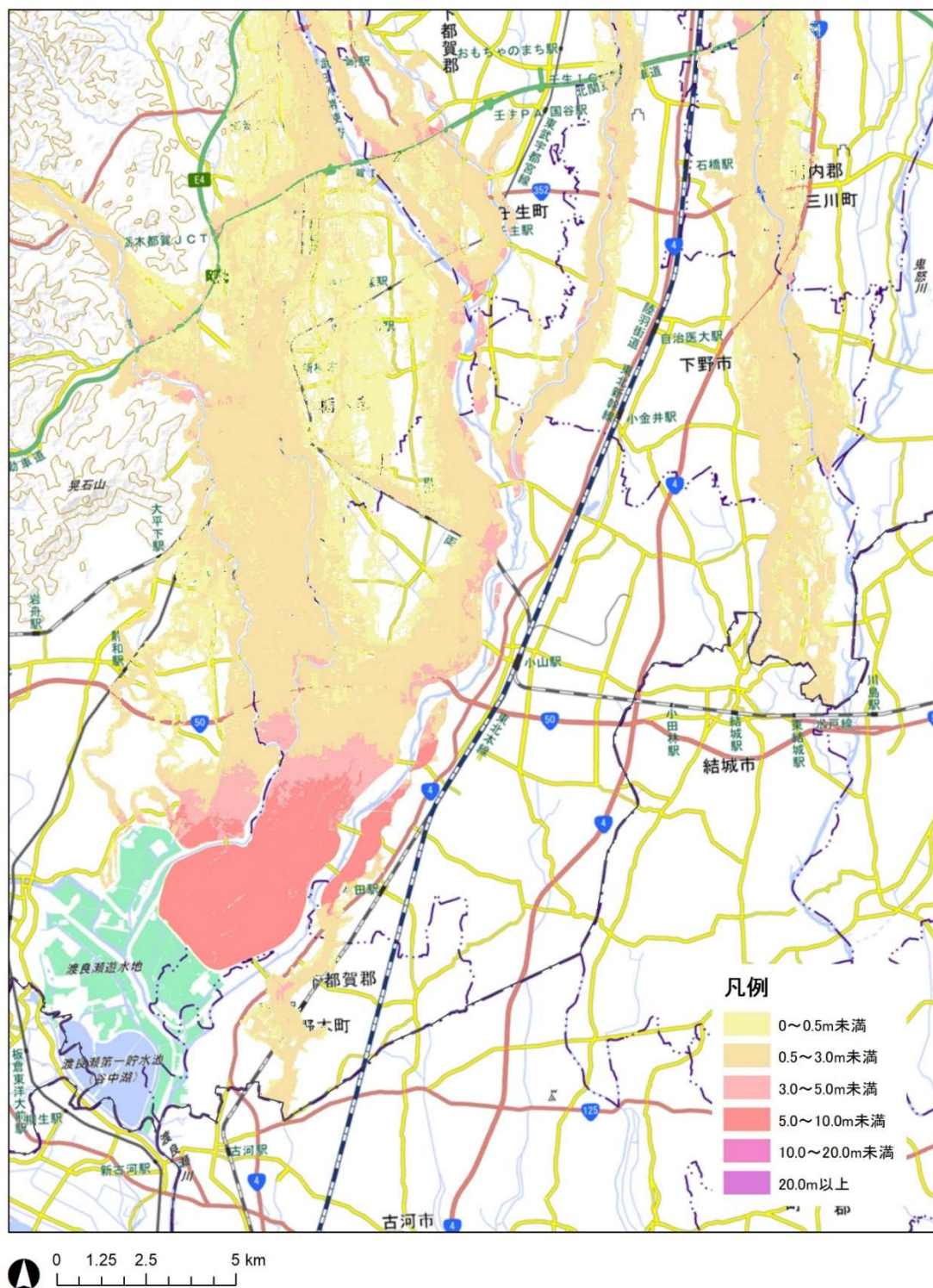


図2.2-8 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川) 浸水深ランク6段階 部分拡大

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階

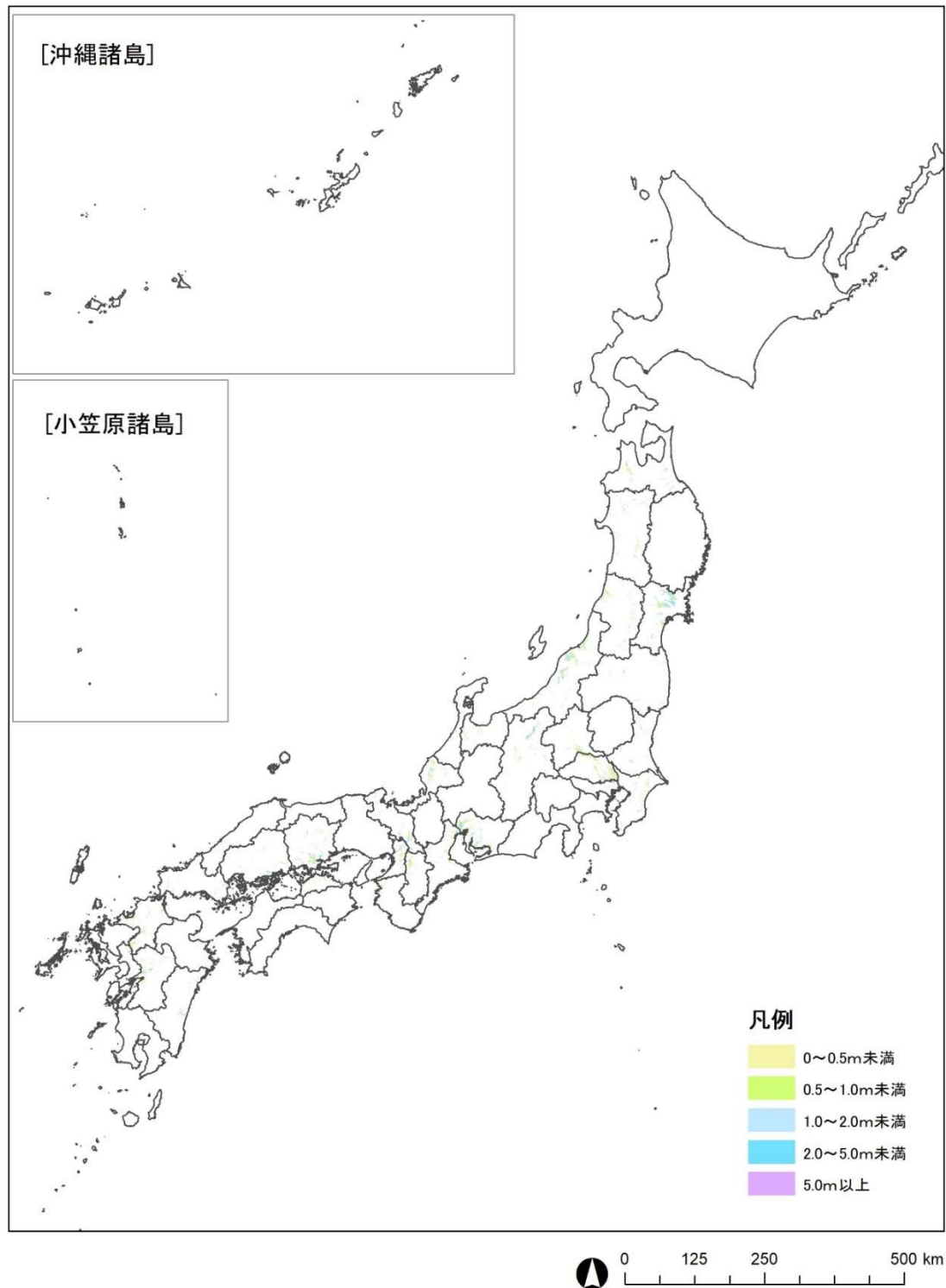


図2.2-9 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階

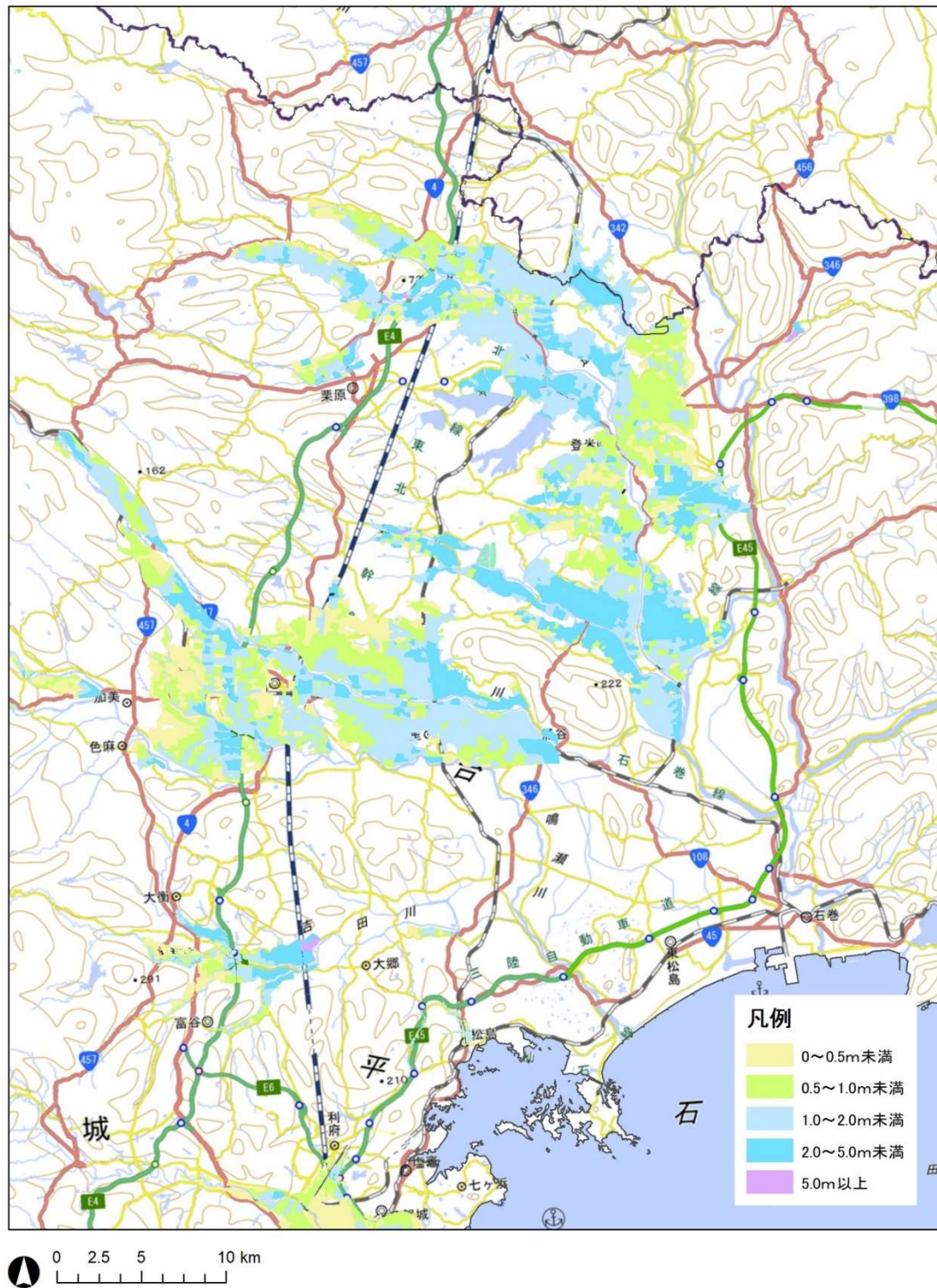


図2.2-10 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階 部分拡大

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階

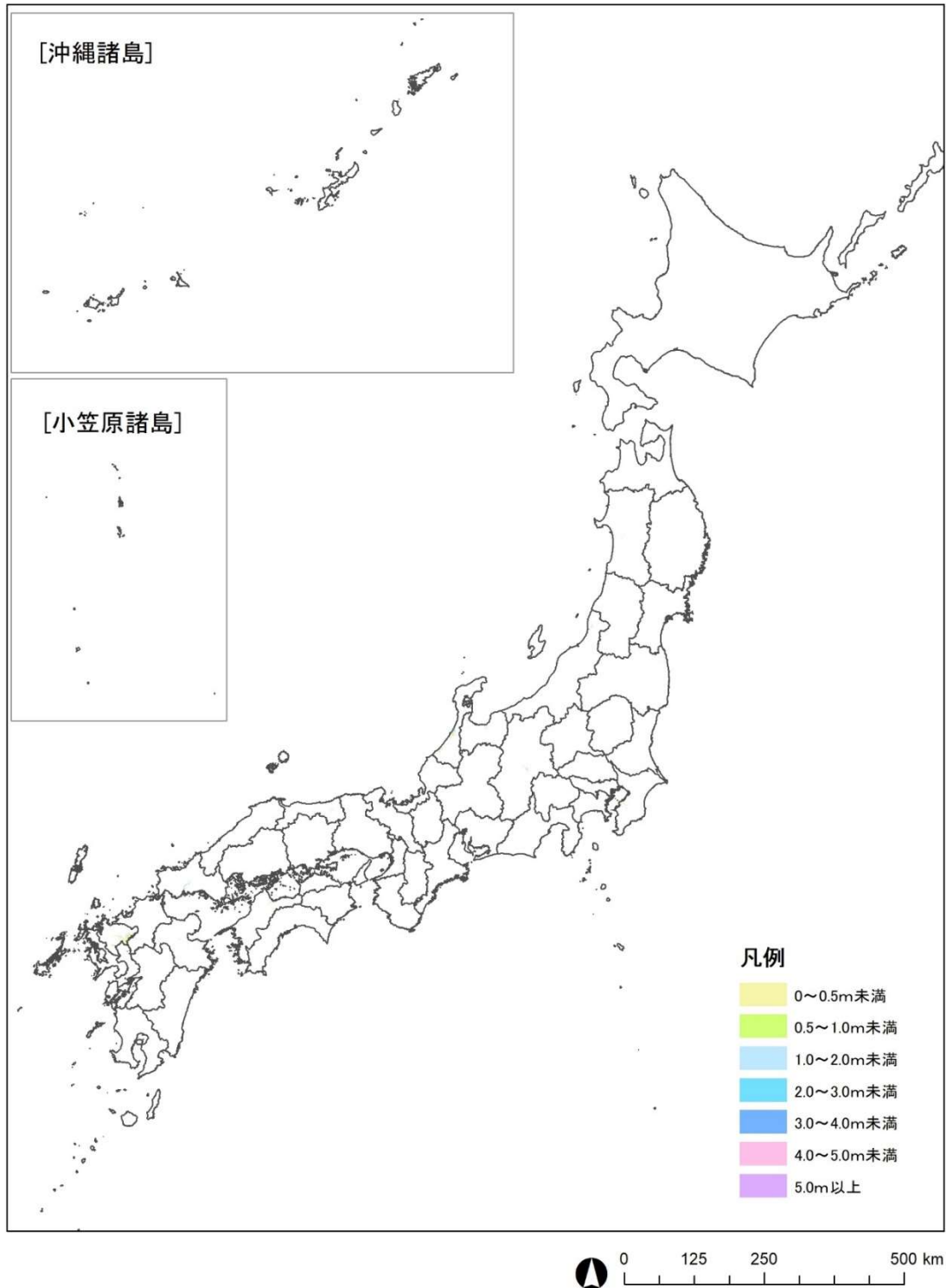


図2.2-11 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階



図2.2-12 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階 部分拡大

浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況

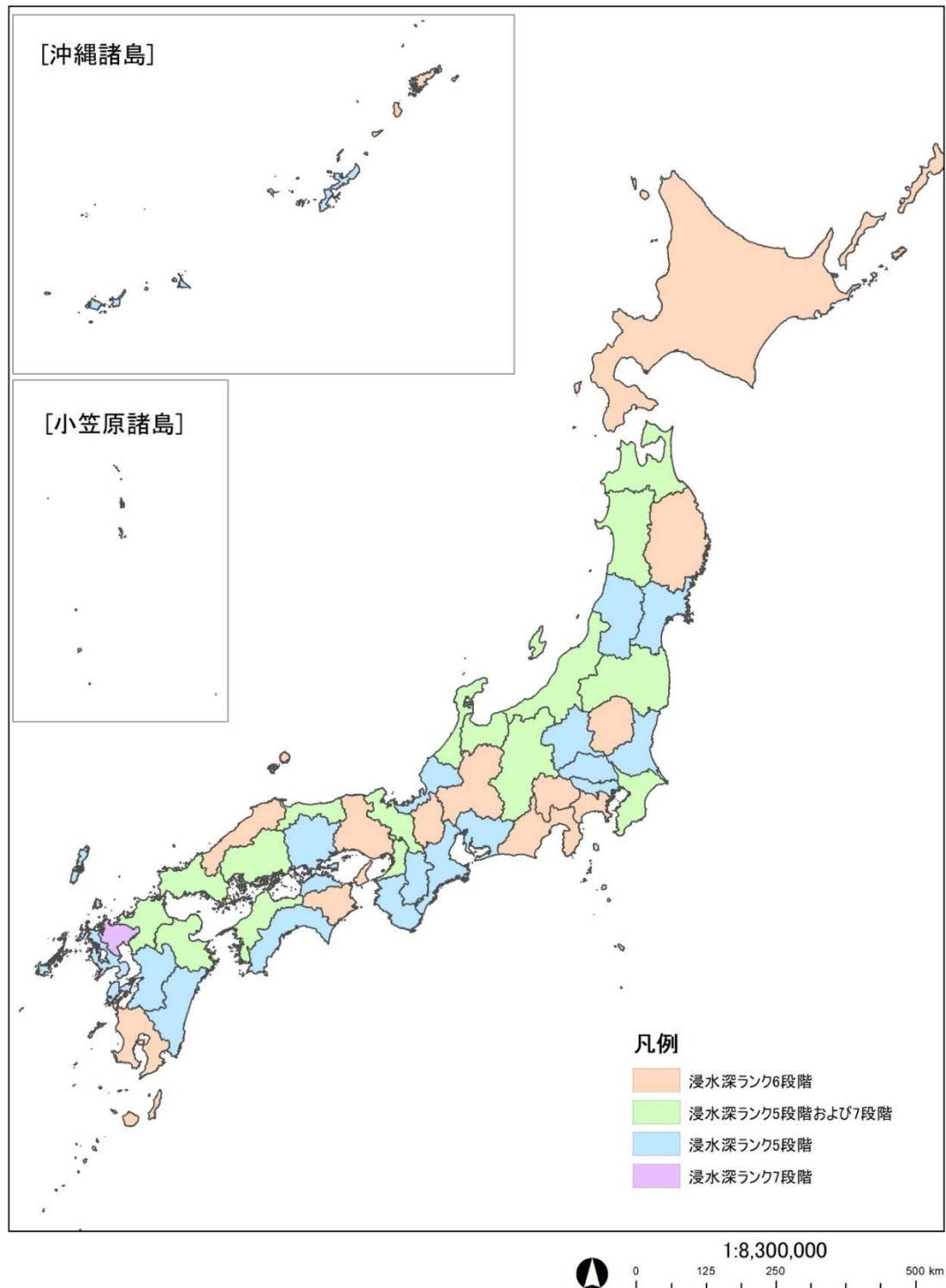


図2.2-13 浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況

浸水想定区域(津波)

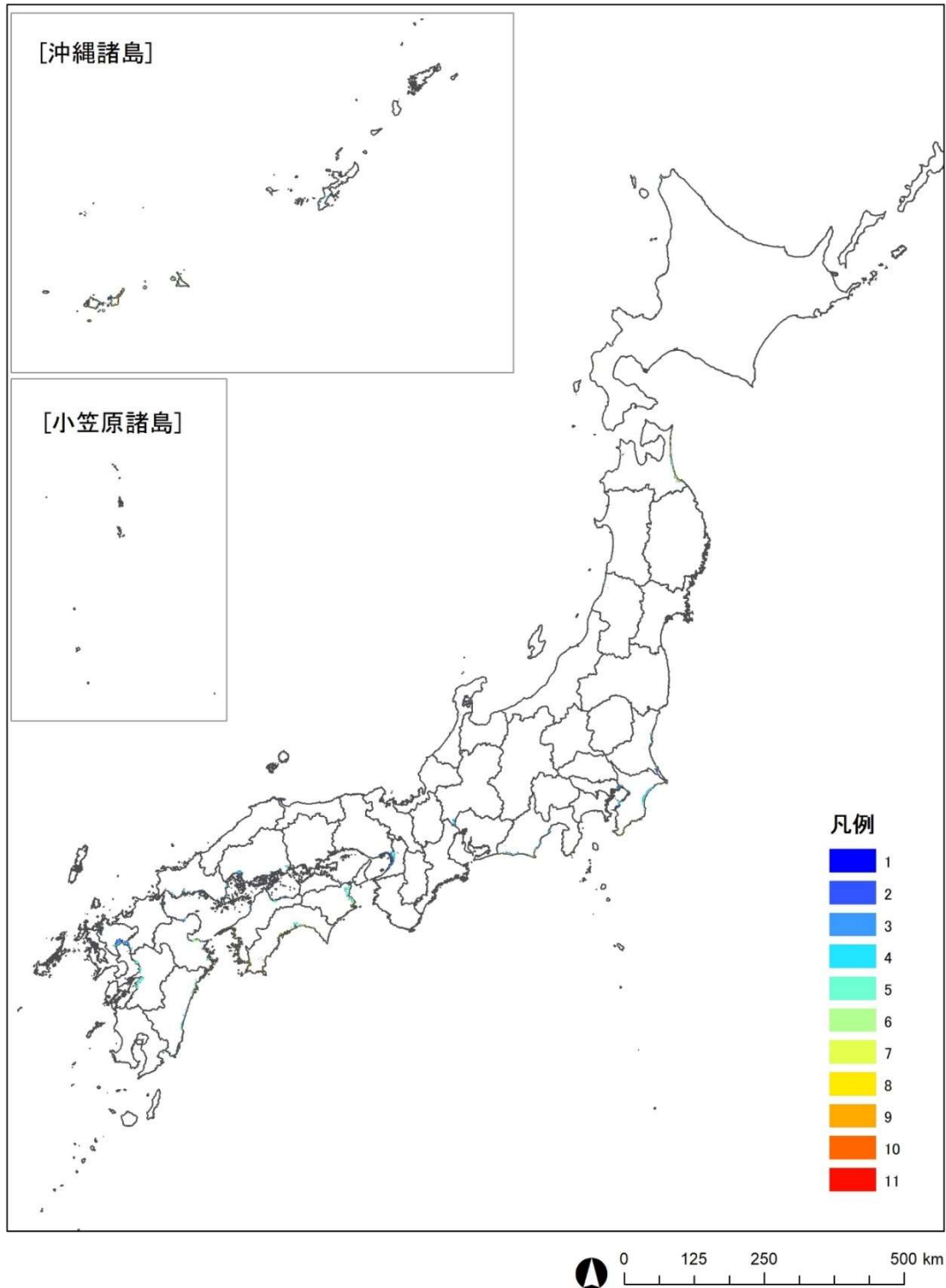


图2.2-14 浸水想定区域 (津波)

浸水想定区域(津波)

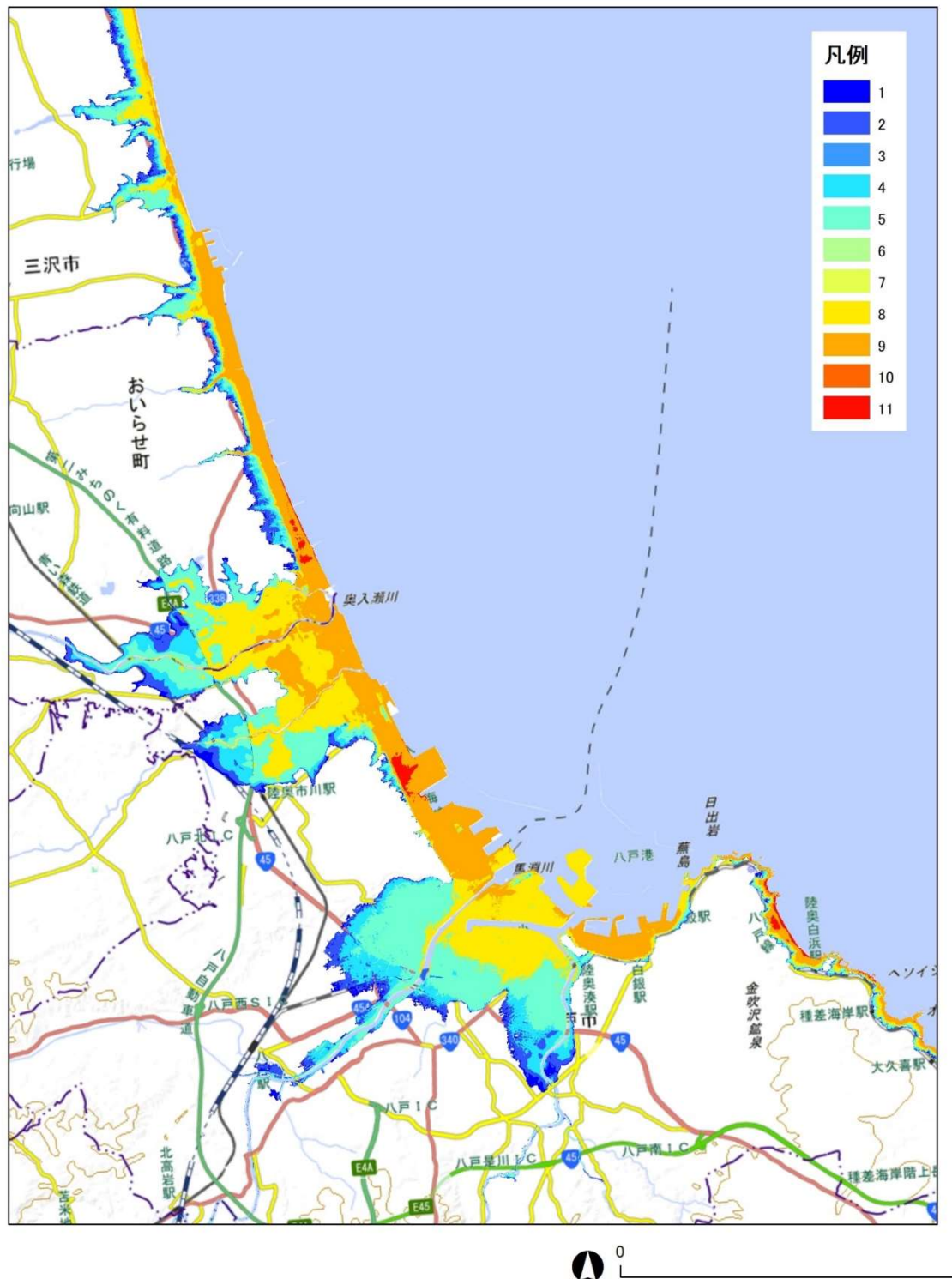


図2.2-15 浸水想定区域(津波) 部分拡大

<津波浸水想定 凡例表示>

凡例区分	津波浸水際					
	北海道	青森県	山形県	茨城県	千葉県	石川県
1	～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.01m 以上 0.3m 未満	0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満
3	0.5m 以上 ～ 1m 未満				0.5m 以上 1.0m 未満	0.5m 以上 ～ 1m 未満
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	1m 以上 ～ 3m 未満
5		2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満		
6	3m 以上 ～ 5m 未満				3.0m 以上 5.0m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満
7						
8	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満
9	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上	10m 以上 ～ 20m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満
10						
11	20m 以上	20m 以上			20.0m 以上	

凡例区分	津波浸水際					
	岐阜県	静岡県	京都府	大阪府	兵庫県	鳥取県
1	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満
3	0.5m 以上 ～ 1m 未満					0.5m 以上 ～ 1m 未満
4	1m 以上 ～ 3m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 3m 未満
5		2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 4m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満
6	3m 以上 ～ 5m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満		3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満
7			4m 以上	4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	
8		5m 以上 ～ 10m 未満		5m 以上	5m 以上	5m 以上 ～ 10m 未満
9		10m 以上 ～ 20m 未満				
10						
11		20m 以上				

凡例区分	津波浸水際					
	島根県	広島県	山口県	徳島県	愛媛県	高知県
1	0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 0.5m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満
3	0.5m 以上 ～ 1m 未満					
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満
5		2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満
6	3m 以上 ～ 5m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 4m 未満	3m 以上 ～ 5m 未満
7		4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	4m 以上 ～ 5m 未満	
8	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上	5m 以上	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満
9				10m 以上	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 15m 未満
10						15m 以上 ～ 20m 未満
11					20m 以上	20m 以上

凡例区分	津波浸水際					
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県
1	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満	0.3m 未満
2	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満
3						
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満
5	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満
6					3m 以上 ～ 4m 未満	
7					4m 以上 ～ 5m 未満	
8			5m 以上 ～ 10m 未満		5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満
9					10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満
10						
11						

凡例区分	津波浸水際					
	鹿児島県	沖縄県				
1	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満	0.01m 以上 ～ 0.3m 未満				
2	0.3m 以上 ～ 1m 未満	0.3m 以上 ～ 1m 未満				
3						
4	1m 以上 ～ 2m 未満	1m 以上 ～ 2m 未満				
5	2m 以上 ～ 3m 未満	2m 以上 ～ 5m 未満				
6	3m 以上 ～ 5m 未満					
7						
8	5m 以上 ～ 10m 未満	5m 以上 ～ 10m 未満				
9	10m 以上 ～ 20m 未満	10m 以上 ～ 20m 未満				
10						
11		20m 以上				

図2.2-16 浸水想定区域（津波）凡例

浸水想定区域(津波)_収録状況

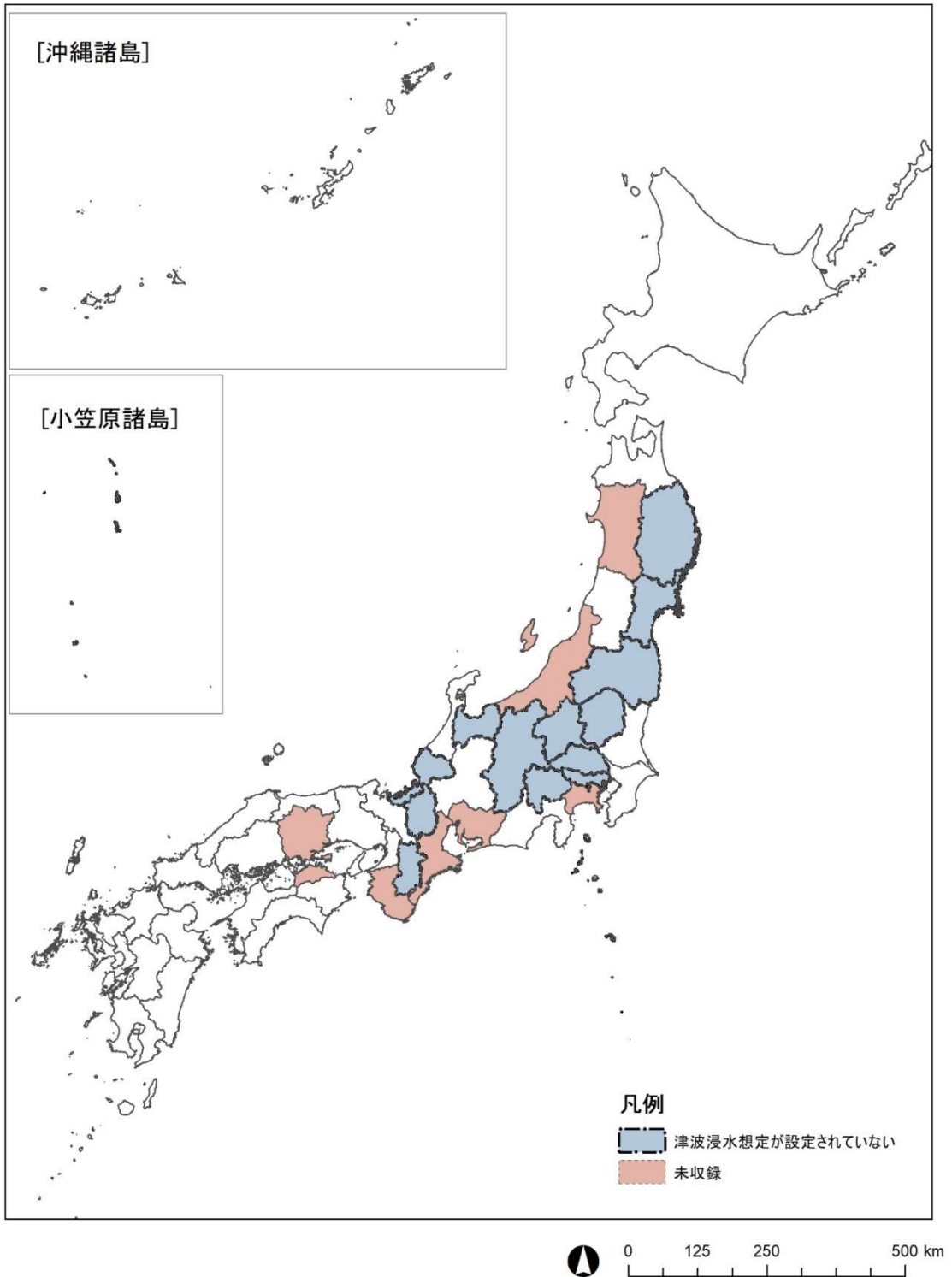


図2.2-17 浸水想定区域(津波)_収録状況

浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))

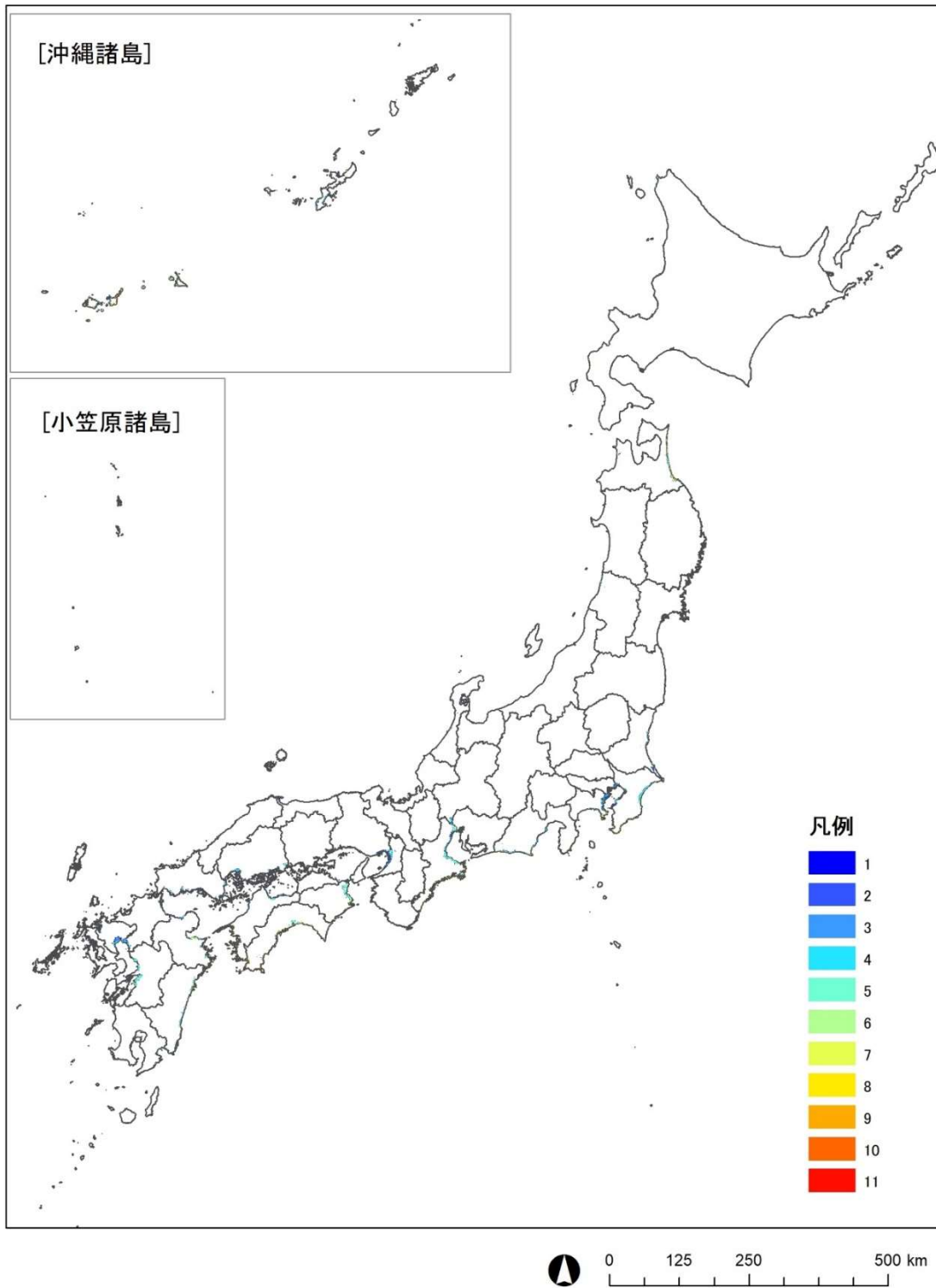


図2.2-18 浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))

2.2.5 システム搭載用データの作成

(1) システム搭載用GISデータの仕様

作成したGIS データが、EADASのシステムで適切に表示されるように、システム搭載用データを作成した。システム搭載用データの仕様を表2.2-19に示す。

表2.2-19 システム搭載用データの仕様等

共通事項	
データ形式	ファイルジオデータベース (FGDB) 形式 シェープファイルまたはラスターデータをFGDBへ変換し、データセットとして登録する。
	マップキャッシュ (※一部の情報項目に適用) 情報量が多いことなどによる、WebGIS上で表示に時間を要する情報項目については、それぞれ定められた縮尺レベルに対応したマップキャッシュデータを整備する。
	マップドキュメントファイル FGDBから読み込んだ各情報項目のレイヤについて、それぞれ属性項目一覧で定義した属性項目 (エイリアス) 名の入力、凡例、ラベル、表示縮尺等を設定する。なお、マップドキュメントファイルは、データソースを相対パスで保有する設定とし、EADASシステムのArcGIS Serverと同じバージョンのファイルとして保存する。
データフレームの座標系	マップドキュメントに設定する座標系は、WGS_1984_Web_Mercator_Auxiliary_Sphere (WKID:3857) とする。
ファイルの命名規則	ファイルジオデータベースとマップドキュメントファイル、および各情報項目のレイヤ名は、EADAS搭載用GISデータの構成に従う。

(2) システム搭載用GISデータの構成

作成したGISデータにおけるEADAS搭載用GISデータの構成を表2.2-20に示す。

表2.2-20 システム搭載用GISデータ構成

DB区分	カテゴリ_大区分		カテゴリ_小区分		情報項目 (情報名)		レイヤ名	ファイル名	システム搭載単位 (マップサービス)	
	NO_1	データ分類1	NO_2	データ分類2	NO_3	データ分類3	データ分類4	ファイル名	レイヤ 順序 マップサービ ス単位内	マップ キャッ シュ
全国 環境 情報	2	社会的状 況	8	防災関 連情報	X1_01_01	土砂災害特別警戒区 域(位置)	土砂災害特別警戒区 域(線)	SD01_T_L	1	—
					X1_01_02	土砂災害特別警戒区 域(範囲)	土砂災害特別警戒区 域(面)	SD01_T_A	1	●
					X1_01_03	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	SD01_K_A	1	●
					X1_02_11	浸水想定区域(洪水) (国管理河川)浸水深 ランク6段階	浸水想定区域(洪水) (国管理河川)浸水深 ランク6段階	SD02_1_A	1	●
					X1_02_21	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 浸水深ランク6段階	SD02_2_A	1	●
					X1_02_22	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 浸水深ランク5段階	SD02_3_A	1	—
					X1_02_23	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 浸水深ランク7段階	SD02_4_A	1	—
					X1_02_24	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 収録状況	浸水想定区域(洪水) (都道府県管理河川) 収録状況	SD02_N_A	1	—
					X1_03_01	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	SD03_1_A	1	●
					X1_03_02	浸水想定区域(津波) 収録状況	浸水想定区域(津波) 収録状況	SD03_N_A	1	—
					X1_03_03	浸水想定区域(津波) (非公開(環境省))	浸水想定区域(津波) (非公開(環境省))	SD03_2_A	1	●

(3) システム搭載用データの情報説明

作成したGISデータの原典情報等をEADASに収録して表示させるために、情報説明一覧表を作成した。一覧表には、各情報の内容、原典、整備年度、URL情報、留意事項、表示縮尺制限について記載した。情報説明を表2.2-21～23に示す。なお、情報説明一覧表は、システム運用業者に提出した。

表2.2-21 情報説明一覧

DB区分	カテゴリ大区分	カテゴリ小区分	情報項目(情報名)	レイヤ名	内 容	原 典	整備年度	URL1	URL2	URL3	留意事項1	留意事項2	表示縮尺の制限
	データ分類1	データ分類2	データ分類3	データ分類4									
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち国管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は国管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)令和元年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlfto.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsITmolt-A31-v2_1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/yozaitei/	https://disaportal.gsis.go.jp/hazardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、 [拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は浸水深が6区分となっている都道府県管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)令和2年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlfto.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsITmolt-A31-v2_1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/yozaitei/	https://disaportal.gsis.go.jp/hazardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、 [拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は浸水深が5区分となっている都道府県管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)平成24年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlfto.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsITmolt-A31-v2_1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/yozaitei/	https://disaportal.gsis.go.jp/hazardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、 [拡大の限度]1: 4,500

表 2.2-22 情報説明一覧

DB区分	カテゴリ_大区分	カテゴリ_小区分	情報項目(情報名)	レイヤ名	内 容	原 典	整備年度	URL1	URL2	URL3	留意事項1	留意事項2	表示縮尺の制限
	データ分類1	データ分類2	データ分類3	データ分類4									
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、洪水浸水想定区域の位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。この情報項目は浸水深が7区分となっている都道府県管理河川を示したレイヤです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(洪水浸水想定区域)平成24年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31-v2.1.html	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/saigai/tyozaiti/ht.html	https://disportal.gsi.go.jp/hazardmap/azardmap/copyright/copyright.html	原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	①複数の河川で浸水想定区域が重なっている場合や、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっている場合は、最も深い浸水深の凡例が表示されるようにしています。なお、一つの河川で異なる浸水深区分のデータが重なっているのは原典によるものです。②凡例は国土交通省が公表している「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(URL2)」と「ハザードマップポータルサイト(URL3)」を参考にしています。③洪水浸水想定シミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深がこの洪水浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)収録状況	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)収録状況	水防法第十条第二項及び第十一条第一項に基づき指定される洪水予報河川並びに水防法第十三条に基づき指定される水位周知河川のうち都道府県管理の河川について、本サイトでの収録状況を示している。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域)令和2年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2.4.html			原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。		[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	津波防災地域づくり法に基づいて設定された津波浸水想定について、位置(面)、浸水深等の情報をGISデータとして整備したものです。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(津波浸水想定)平成28年度および平成29年度および平成30年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A40.html			原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。	国土数値情報(津波浸水想定)データの利用にあたり、国土情報利用約款のほか、都道府県毎に定められた利用条件を必ず遵守するようにしてください。実際の津波はこの津波浸水想定よりも大きい場合があります。	[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500
全国環境情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域(津波)収録状況	浸水想定区域(津波)収録状況	津波防災地域づくり法に基づいて設定された津波浸水想定について、本サイトでの収録状況を示している。	1. 国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域)令和2年度」をもとに加工	令和2年度	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2.4.html			原典の国土数値情報を使用する場合は、「国土数値情報ダウンロードサービス利用約款」(URL3参照)の利用条件を遵守するとともに、約款に示される方法により「国土数値情報」を使用したことを必ず明記してください。		[縮小の限度]1: 9,300,000、[拡大の限度]1: 4,500

表2.2-23 情報説明一覧

DB区分	カテゴリ_大区分	カテゴリ_小区分	情報項目 (情報名)	レイヤ名	内 容	原 典	整備年度	URL1	URL2	URL3	留意事項1	留意事項2	表示縮尺の 制限
	データ分類 1	データ分類 2	データ分類3	データ分類4									
全国環境 情報	社会的状況	防災関連情報	浸水想定区域 (津波)(非公開 (環境省))	浸水想定区域 (津波)(非公開 (環境省))	津波防災地域づくり法に 基づいて設定された津波 浸水想定について、位置 (面)、浸水深等の情報を GISデータとして整備した ものです。	1. 国土交通省国 土政策局「国土数 値情報(津波浸水 想定)平成28年度 および平成29年 度および平成30 年度」をもとに加 工	令和2年度	https://niftp.mlit.go.jp/ksi/gml/datalist/KsiImlt-A40.html			原典の国土数値情報を使用 する場合は、「国土数値情 報ダウンロードサービス利 用約款」(URL3参照)の利 用条件を遵守するとともに、 約款に示される方法により 「国土数値情報」を使用した ことを必ず明記してくださ い。	国土数値情報(津波浸水想定)データの利用に あたり、国土情報利用約款のほか、都道府県 毎に定められた利用条件を必ず遵守するよう にしてください。実際の津波はこの津波浸水想 定よりも大きい場合があります。	[縮小の限 度]1: 9,300,000、 [拡大の限 度]1:4,500

2.2.6 本システムの運用者との連携調整

システム搭載用データの作成は、本システム運用業者と連携して行った。これにより、当該運用業者からはシステムに搭載可能なデータであることの確認を受けた。本システム運用業者による確認結果を表2.2-24に示す。

表2.2-24 システム運用業者による確認結果

DB区分	カテゴリ_大区分		カテゴリ_小区分		情報項目 (情報名)		レイヤ名	公開設定	確認	搭載可否
	NO_1	データ分類 1	NO_2	データ分類 2	NO_3	データ分類3	データ分類4			
全国環境情報	2	社会的状況	8	防災関連情報	X1_01_01	土砂災害特別警戒区域(位置)	土砂災害特別警戒区域(線)	公開	確認済	搭載可
					X1_01_02	土砂災害特別警戒区域(範囲)	土砂災害特別警戒区域(面)	公開	確認済	搭載可
					X1_01_03	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	公開	確認済	搭載可
					X1_02_11	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(国管理河川)浸水深ランク6段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_21	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク6段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_22	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク5段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_23	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)浸水深ランク7段階	公開	確認済	搭載可
					X1_02_24	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況	浸水想定区域(洪水)(都道府県管理河川)_収録状況	公開	確認済	搭載可
					X1_03_01	浸水想定区域(津波)	浸水想定区域(津波)	公開	確認済	搭載可
					X1_03_02	浸水想定区域(津波)_収録状況	浸水想定区域(津波)_収録状況	公開	確認済	搭載可
					X1_03_03	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	浸水想定区域(津波)(非公開(環境省))	公開	確認済	搭載可

2.2.7 EADAS への搭載に関する検討

前項で作成したEADAS 搭載用データをEADAS に搭載するに当たり、EADAS において必要な対応について検討した。検討の結果、浸水想定区域（津波）については都道府県ごとに浸水深区分の設定が異なるため、別ウインドウにて表示・照会できるように設定するものとした。表示イメージを図2.2-19に示す。

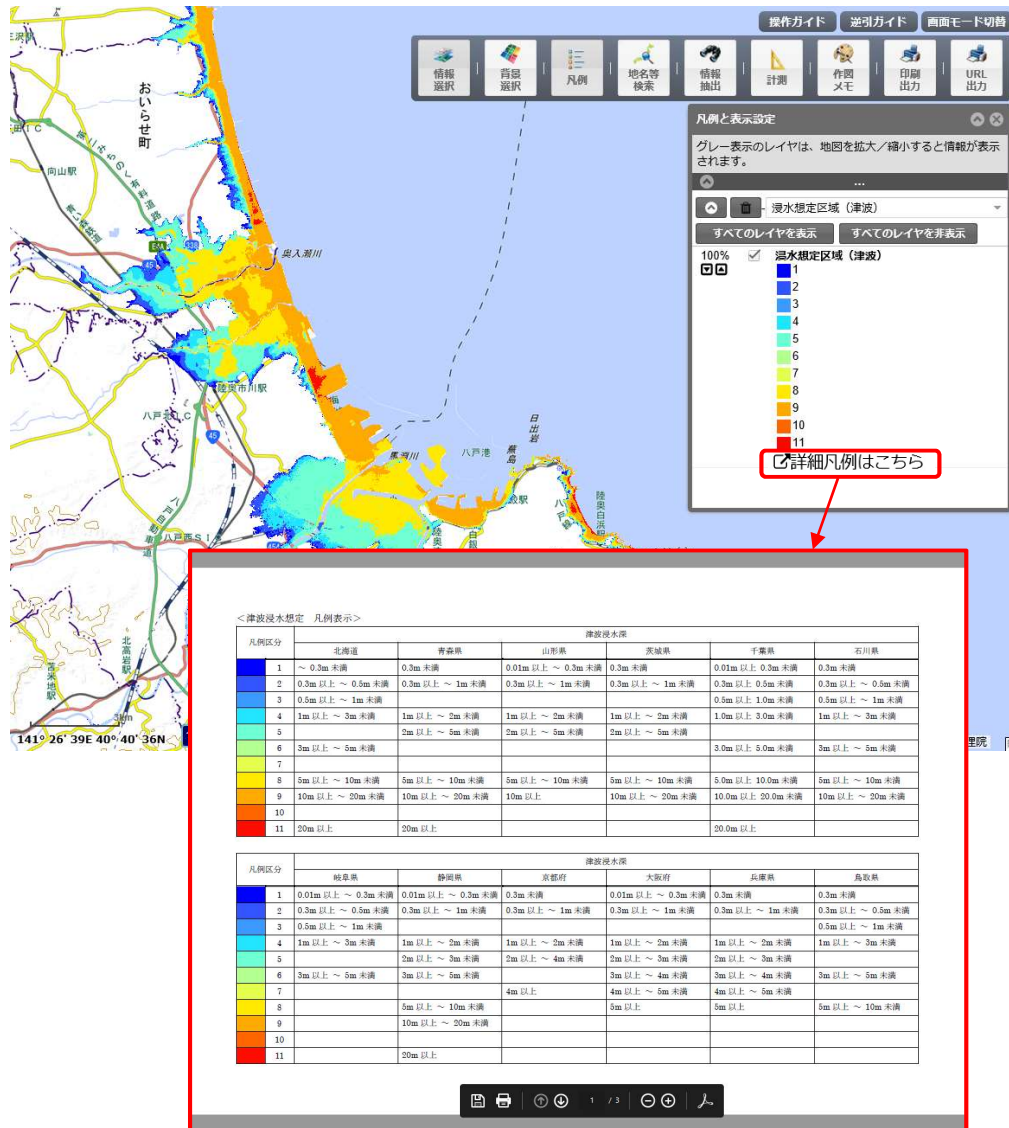


図2.2-19 浸水想定区域（津波）の凡例表示イメージ

2.2.8 品質検査

本業務で整備した防災関連情報の GIS データについて、製品仕様書で定めた品質要求に従いデータの品質検査を実施し、その結果を品質評価報告書としてとりまとめた。また、GIS データは EADAS システムの運用業者による受け入れ検査を受けた。品質評価報告書を表 2.2-25～33、受け入れ検査結果を表 2.2-34 に示す。

表2.2-25 品質評価報告書 土砂災害警戒区域

品質評価報告書土砂災害警戒区域										
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	土砂災害警戒区域	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様で定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様で定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格		
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格		
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率 0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		

表2.2-26 品質評価報告書 土砂災害特別警戒区域（位置）

＜品質評価報告書＞土砂災害特別警戒区域(位置):土砂災害特別警戒区域(面)										
パッケージ	地物	品質要素	品質評価要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	土砂災害特別警戒区域(面)	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	
			位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
				相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
		時間正確度	グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
		定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			

表2.2-27 品質評価報告書 土砂災害特別警戒区域（位置）

＜品質評価報告書＞土砂災害特別警戒区域(位置):土砂災害特別警戒区域(線)										
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報		完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	
			位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
				相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
		時間正確度	グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
		定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			

表2.2-28 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階

品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク6段階										
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	土砂災害警戒区域	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	
			位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
				相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
		グリッドデータ位置正確度		-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		

表2. 2-29 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階

品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階										
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由	
全国環境情報	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク6段階	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格		
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格		
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格		

表2.2-30 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階

＜品質評価報告書＞浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階											
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由		
全国環境情報		浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク5段階	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
				漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格		
			論理一貫性	書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
				概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
				定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格		
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	-	-
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	-	-
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	-	-
		主題正確度	時間妥当性	-	-	-	-	-	-	-	-
			分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	-	-
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			
		定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格				

表2.2-31 品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階

品質評価報告書 浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階									
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由
全国環境情報	浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク7段階	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-
			時間測定正確度	-	-	-	-	-	-
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	

表2.2-32 品質評価報告書 浸水想定区域（津波）

＜品質評価報告書＞浸水想定区域（津波）											
パッケージ	地物	品質要素	品質副要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由		
全国環境情報	浸水想定区域（津波）	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格			
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格			
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格			
		時間正確度	グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間測定正確度	-	-	-	-	-	-	-	
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-	-	
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-	-	
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格			

表2.2-33 品質評価報告書 浸水想定区域（津波）_収録状況

品質評価報告書 浸水想定区域(津波) 収録状況									
パッケージ	地物	品質要素	品質評価要素	品質評価尺度	適用範囲	品質要求	実際に行った検査方法	検査結果	不合格の場合の理由
全国環境情報	浸水想定区域（津波）	完全性	過剰	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。 誤率(%) = (過剰なデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			漏れ	データ集合内に、参照データ（原典資料に記載される資料）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。 誤率(%) = (漏れデータ数/参照データに含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	コンピュータ画面上で、参照データとの比較による全数検査を実施した。	合格	
			書式一貫性	データ集合の書式が、符号化仕様に定義された書式となっていない箇所をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			概念一貫性	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
		論理一貫性	定義域一貫性	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定義域の定義がある属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	検査プログラムによる全数検査を実施した。	合格	
			位相一貫性	-	-	-	-	-	-
		位置正確度	絶対または外部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、背景図（国土地理院の電子国土基本図（地図情報））を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			相対または内部正確度	データ集合の位置の座標と、参照データ（原典資料に記載される資料）の座標との誤差を、画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定し、原典資料の縮尺表示で図上1mm以上のズレがあるものをエラーと数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる地物総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	データ集合と原典資料との目視により、位置のズレの最大値を測定した。	合格	
			グリッドデータ位置正確度	-	-	-	-	-	-
		時間正確度	時間測定正確度	-	-	-	-	-	-
			時間一貫性	-	-	-	-	-	-
			時間妥当性	-	-	-	-	-	-
		主題正確度	分類の正しさ	-	-	-	-	-	-
			非定量的属性の正しさ	地物属性のうち非定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる非定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	
			定量的属性の正しさ	地物属性のうち定量的主題属性の値について、データ集合と参照データ（原典資料に記載される資料）との比較を行い、定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 誤率(%) = (エラー数/データ集合に含まれる定量的主題属性の属性総数) × 100	データ集合全体	誤率0%	原典資料から読み取れる属性については、作成した地物属性を画面表示させ、原典資料との比較を目視で行い、誤った属性内容を持つデータの割合を計算した。	合格	

表2. 2-34 運用業者による品質検査結果

情報項目	搭載データ 検査	検査実施日	検査内容								
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
土砂災害特別警戒区域（位置）	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
土砂災害特別警戒区域（範囲）	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
土砂災害警戒区域	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（国管理河川）浸水深ランク 6 段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク 6 段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク 5 段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）浸水深ランク 7 段階	2021/1/14	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（洪水）（都道府県管理河川）_収録状況	2021/1/21	2021/1/26	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（津波）	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（津波）_収録状況	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
浸水想定区域（津波）（非公開（環境省））	2020/12/15	2020/12/23	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
<p><検査内容></p> <p>①座標系が正しく定義されているか</p> <p>②システム登録する際にエラーが表示されないか</p> <p>③背景地図（地理院地図）と重なって表示されるか</p> <p>④スケールフィルタを設定している場合、表示状態に正しく反映されているか</p> <p>⑤凡例が設定されたとおりに表示されるか</p> <p>⑥文字コードはシステムで利用可能な文字コードとなっているか</p> <p>⑦検索と結果表示が正しく行われるか</p> <p>⑧地図データ閲覧・印刷が正しく行われるか</p>											